http://gotunisia.jp/



チュニジア国家観光局

1, Ave. Mohamed V, Tunis Tel:216-71-341-077 Fax:216-71-341-355 URL:www.tunisietourisme.com.tn

チュニジア大使館観光部

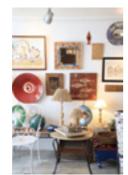
〒 102-0074 東京都千代田区九段南 3-6-6 Tel:03-3511-6622 Fax:03-3511-6600 E-mail:mailbox@tunisia.or.jp URL:www.tunisia.or.jp





2. サュニジアの洗練が詰まった地中海沿いの街々

白い壁に映える「チュニジアン・ブルー」の門の街並みが最高に美しいシディ・ブ・サイドほか地中海沿岸の街にはチュニジアの洗練が詰まっている。ヨーロッパの人々がバカンスに訪れるビーチリゾートであるスースやハマメット、ガマルタなどモダンなホテルや洒落たショップが集まるエリアも多く、一味違った楽しみ方ができる。





上:ヨーロッパナイズされたお洒落なインテリアショップも多い/下:紺碧の地中海を見渡せるシディ・ブ・サイドのカフェ。

3. 悠久の時が育んできた 砂漠と遺跡の壮大なロマン

どこまでも広がる砂と岩の大地と照りつける太陽、ナツメヤシのオアシスが非日常の世界へと連れて行ってくれる、世界最大級の砂漠サハラ。そして紀元前9世紀のフェニキア人の入植に始まる長い覇権争いが残した、世界遺産が目白押しの遺跡群。この地で自然と人間が織り成してきた壮大な歴史のロマンを感じずにいられない。





上:素晴らしい保存状態を誇る都市遺跡、ドゥッガのキャピトル(神殿)/下:羊飼いが荒野を歩く、サハラ砂漠の夕暮れ。



キリスト教およびユダヤ教の小集団もある

通貨単位:チュニジアン・ディナール

チュニジアの街は猫天国。

メディナの路地裏に 隠れた人気者を探してみよう。

大な歴史の

1. <u>まデックで美しい</u> <u>魅惑溢れるアラブ文化の香り</u>

ニジアだからこそっかとアラブ世界、

7世紀半ばから約800年に及んだアラブ支配の中で培われた文化はエキゾチックな魅力がいっぱい。チュニスやスースの迷宮のようなメディナ(旧市街)、荘厳なイスラム美術を堪能できるケロアンのグラン・モスク、独特の色遣いと柄が美しい絨毯や器などのアラビアン雑貨まで、奥深い歴史の香りを心ゆくまで堪能できる。





上:北アフリカ最古の都市ケロアンのシディ・サハブ霊廟/下:伝統的な衣装に身を包んだ、由緒あるレストランのスタッフたち。

Keyword 3: Mosque

北アフリカ最古 荘厳なモスクで触れる イスラムの美。

古都ケロアンにある現 存する最古のモスク「グ ラン・モスク」は紀元後 670年ごろに建てられ、 現在のものは9世紀に再 建されたもの。ローマ・ ビザンチンの遺跡から流 用した列柱が並ぶ荘厳な 回廊ほか、神聖な雰囲気 に溢れている。



同地の伝統工芸である絨毯が敷き詰められたモスク内部。

Keyword 2: Sweet

甘くてやみつきになる チュニジアは スイーツ天国だった。

街を歩けば、スイーツに当たる。辛い調味 料を好むチュニジアの国民は実は甘いお菓子 が大好き。屋台で買える軽くて素朴なドー ナッツなどの揚げ菓子から、洒落た専門店に 並ぶデーツ、アーモンドやピスタチオ、松の 実などを使った綺麗な飾り付けのお菓子ま で、バリエーション豊かで目にも楽しい。







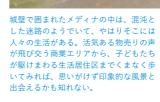


色とりどりのチュニジア・スイーツは地元民にも観光客にも大人気。

旅のスパイス、いっぱいあります。 歩いて、買って、食べて、体験。 ワクワク三昧のチュニジアの旅。



















伝統を守り続ける工芸品もあれば、モダンなアレ ンジを施した都会的な雑貨もある。それぞれの個 性あふれる品揃えの店の店先をあれこれと目移り しながら歩くだけでも充分楽しめる。ケロアンの 絨毯、ナブールの器など、その生産地として知ら れる町では、生産現場を見学できるとこ









街や自然だけでなく、夢やロマンに満ちた時間の 旅を体験したい人は、世界遺産にも指定されている カルタゴ、ドゥッガ、エル・ジェムほかの遺跡群を 見逃す手はない。フェニキア人、ローマ人ほかこの 地で覇権を握り、栄華を誇った古代の人々のドラマ が目の前に迫り来る、特別な体験が待っている。





左) エル・ジェムの円形闘技場

ローマ帝国の支配を受けていた3世紀にゴルディアヌス 3世により建設された。本国ローマのコロッセオよりも 保存状態が良いとされる、第一級の遺跡。現在も数万人 を収容するフェスティバル会場としても機能している。

上) ドゥッガ遺跡

アフリカのローマ遺跡の中でも規模、保存状態ともに最高 クラスとされる、標高 600m の丘の上に建設された広大な 都市遺跡。劇場、神殿、浴場、下水システムまで紀元2

~4世紀に繁栄を極めたローマ都市の面影が生々しく残る。

チュニジア南部の村マトマタは先住民族ベルベル人が暮らしたユニー クな穴居住宅で知られ、観光客に人気。プール付きの3つ星ホテル(写 真) などのほか、穴居住宅をホテルとして利用しているところもある。

北の入 トンマの





サハラ観光の中心地であるドゥーズ周辺ではラクダに乗って砂丘探訪 を楽しむことができるほか、12月から1月にかけてはサハラ・フェス ティバルも開催される。南部オアシスの町トズールの西には映画『ス ターウォーズ』のロケ地があり、今も撮影セットの一部が残されてい て現在もファンが多く訪れる人気スポットとなっている。







大きな魚を乗せたクスクスなどの煮込み料理、ブリックと呼ばれ る半熟卵やパセリなどを入れた揚げクレープなど、スパイスや ハーブを使ったヘルシーな伝統料理が楽しめる。カフェではナッ ツを浮かべたミントティーを楽しむのがベスト。

外料で食べ



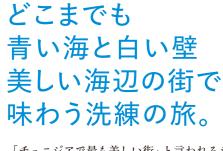




チュニスの北東 18 k m,チュニス湾を望むシディ・ブ・サイドの街では至る所から のびやかな地中海の水平線が目に飛び込んでくる。

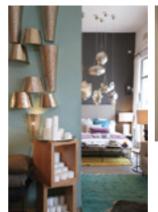


Keyword 6: Resort





「チュニジアで最も美しい街」と言われるシディ・ブ・サイド など地中海沿いに点在する街では、チュニジアの洒落た一面 を味わえる。フランス植民地時代の1920年代から開発された ハマメットや高級住宅地ラ・マルサ近郊のガマルタなどのシー サイド・リゾートでは海を望むレストランでモダンな地中海料 理のディナーや隠れ家的なヴィラでの宿泊、洒落たセレクト ショップでのショッピングなど、リラックスして過ごしたい。



シーズンになるとヨーロピアンたちで賑わうリ ゾートエリアにはモダンテイストのインテリアや コスメのショップ、雑貨店も多い。他では手に入 らない、ちょっと気の利いたスペシャルなお土産 を探すなら、こうしたショップを当たるのもいい。